



校長つうしん 露 満

2020年1月6日(月) 第29号

発行者 校長 小成 善保

2020(令和2)年：子年、生徒諸君に期待すること！

昨年は、平成から令和に元号が変わる節目の年で、首里城火災など残念なこともありました。今年も、十二支の最初である子年(ねずみ)であります。今年も、首里高生が大活躍することを祈願いたします。

【3年生へ】

高校の集大成を確認し、次のステップへ飛翔・チャレンジする時が来ました。生徒一人ひとりの進路実現へラストスパートを！！

【1・2年生へ】

大志を獲得するため、残りの高校生活を考え、計画・目標をしっかりと定め即実行しましょう！！

令和元年度 創立記念講演会！

12月12日(木)に創立記念講演会が行われました。今年も、上江洲律子先輩(沖縄国際大学准教授：フランス文学)による「一冊の本が世界への扉に～首里高校の図書館から～」という演題でした。

高校時代から今日に至るまでの様々な経歴を踏まえての素晴らしい講演でした。

印象に残った言葉に「自分のチャンネルを大切に！」チャンスをつかめ。



センター体感模試実施！

冬休みに入った12月26日(木)・27日(金)の2日間、3年生は、センター試験前の最後の模擬テストとしてセンター試験に合わせた時間でセンター体感模試を行いました。

本番まで、かぎられた時間を有効に活用し良い結果が出るように皆で祈願致します。頑張れ受験生！



女子バレー部激励会！

12月11日(水)首里高校のバレーボール部OB・OGと父母会が春高バレー出場の女子と県3位の男子バレーボール部の激励会を開催してくれました。



【雑学コーナー】 地頭力を鍛える

- 演繹的推論：そう決まっているから、厳密な論理性がある、トップダウン、抽象から具体
- 帰納的推論：みんなそうだから、厳密な論理性はない、ボトムアップ、具体から抽象

【読書コーナー】

- 「池上彰の日本の教育がよくわかる本」
著者：池上彰
- ゆとり教育で学力は低下したのか
- フィンランドはなぜ教育に力を入れたのか